

トピック — 平成25年の野菜の購入数量について —

平成25年の生鮮野菜の一人当たり購入数量（「家計調査」、2月18日公表）は58kgとなり、最近10年間の推移をみると、年次変動はあるが、ほぼ横ばいないし微増傾向にある。野菜の国内生産量と輸入量を加えた国内仕向け量からみた、一人当たりの年間消費量が近年減少傾向にあるなかでは、生鮮野菜の家庭消費は総じて堅調であるといえる。

一方で、購入品目の動向は、最近10年間で大きく変化し、キャベツ、たまねぎ、レタス、はくさい、トマト、にんじん等が増加する一方、だいこん、ほうれんそう、さといも、ばれいしょ等は減少している。

このうち、キャベツの年齢層別の購入数量をみると、特に高齢世帯層で増加しており、高齢化の進展が、堅調な野菜の家庭消費を支えている面もあるとみられる。

また、最近は、カット野菜の普及等により、家庭でのサラダの年間購入金額が大きく増加している。

購入数量が増加している品目については、

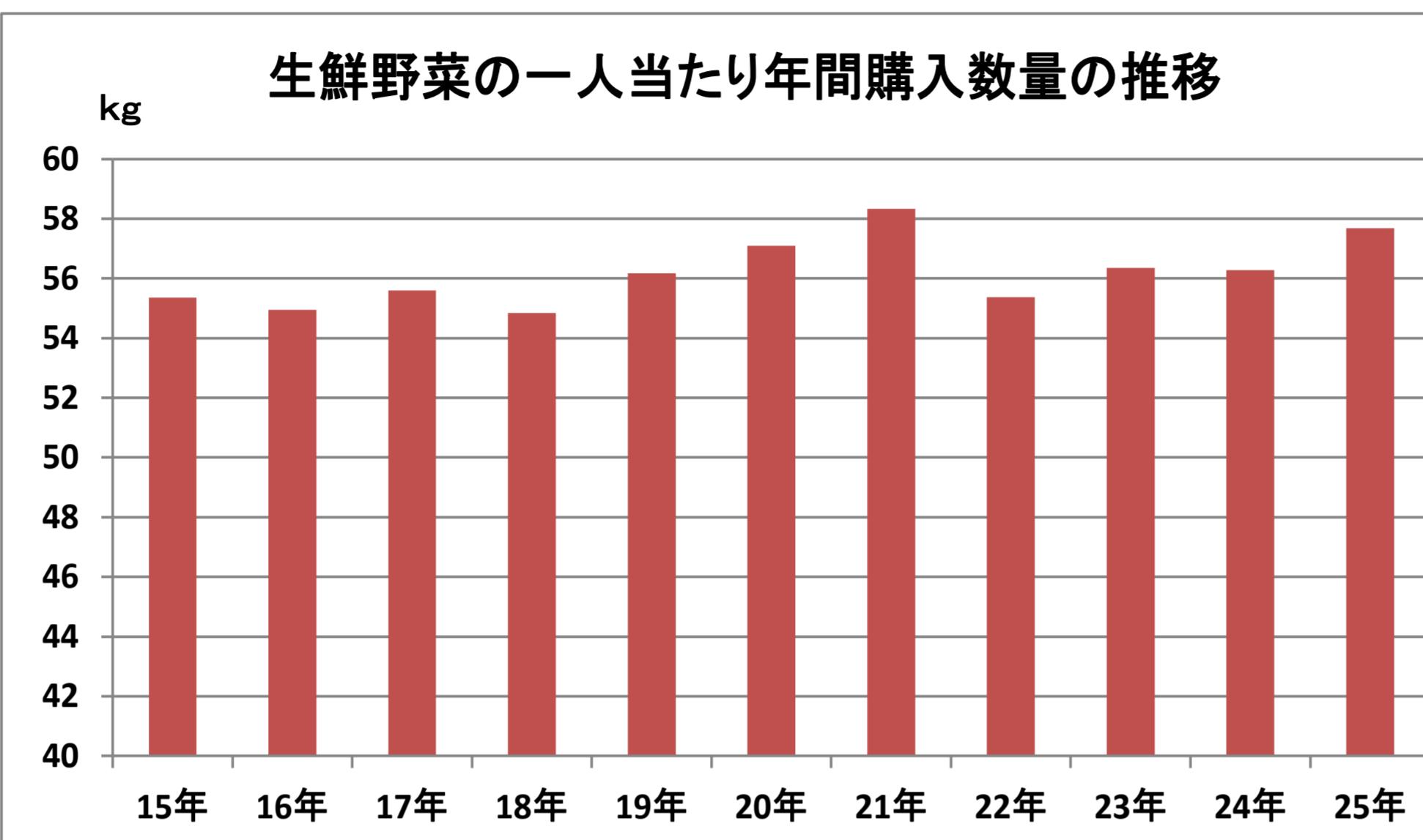
① キャベツ、たまねぎ、レタス、トマトなどは下処理等の手間がかからず、すぐにサラダなどで食べられること（簡便・即食指向）

② キャベツ、たまねぎ、はくさい、にんじんなどは、炒めたり、煮込んだりと、料理法が多様で、メニューも和食・中華をはじめ豊富であること（多様性、汎用性）

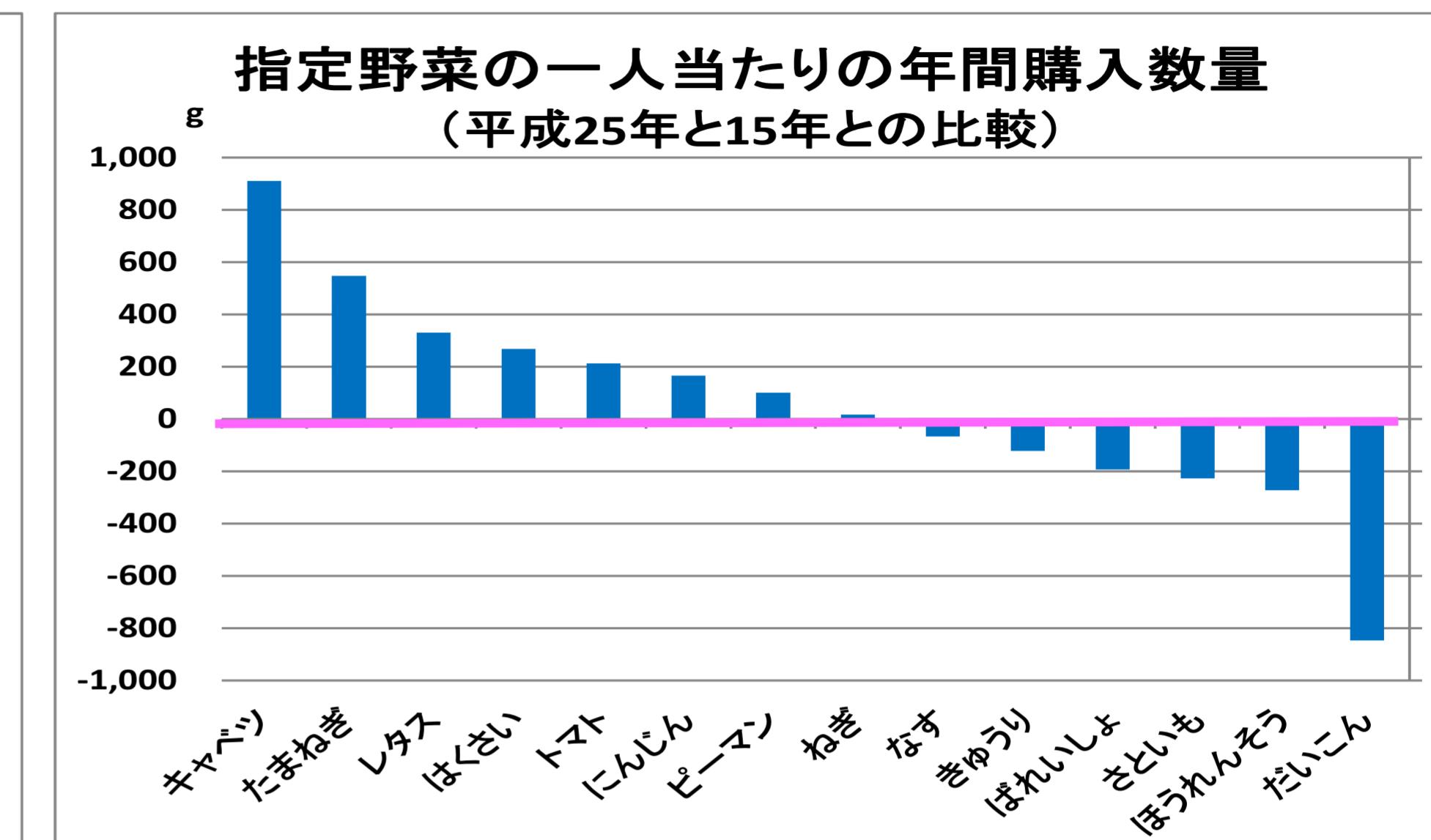
③ トマトなどは、機能性成分が着目され、種類も豊富であること（健康志向）

などの特徴がある。

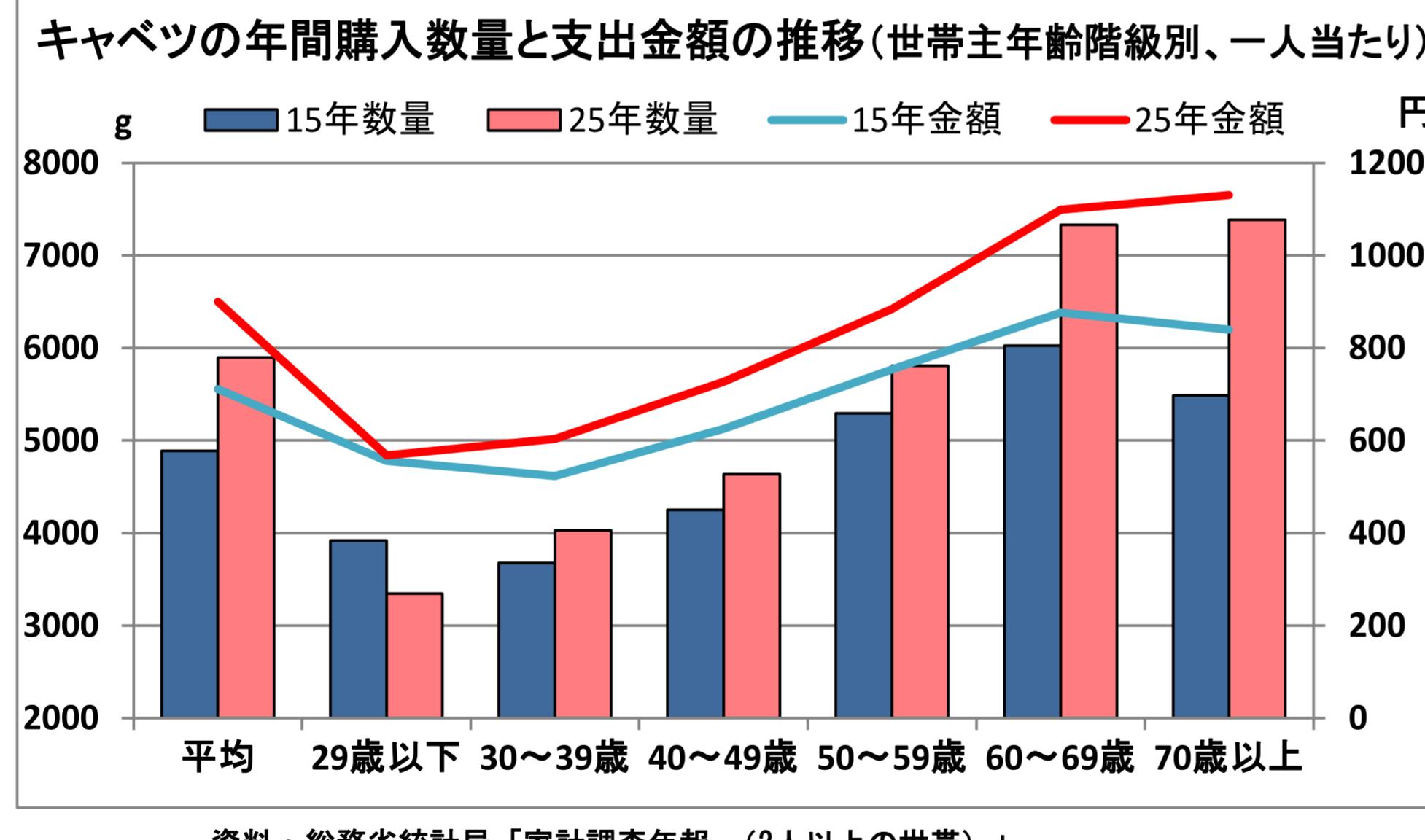
今後とも、高齢化や女性の社会進出、単身世帯化は着実に進展することから、これに伴う野菜消費の変化に即応する形で、加工・業務用需要も含めた国産野菜の安定的な供給が求められている。



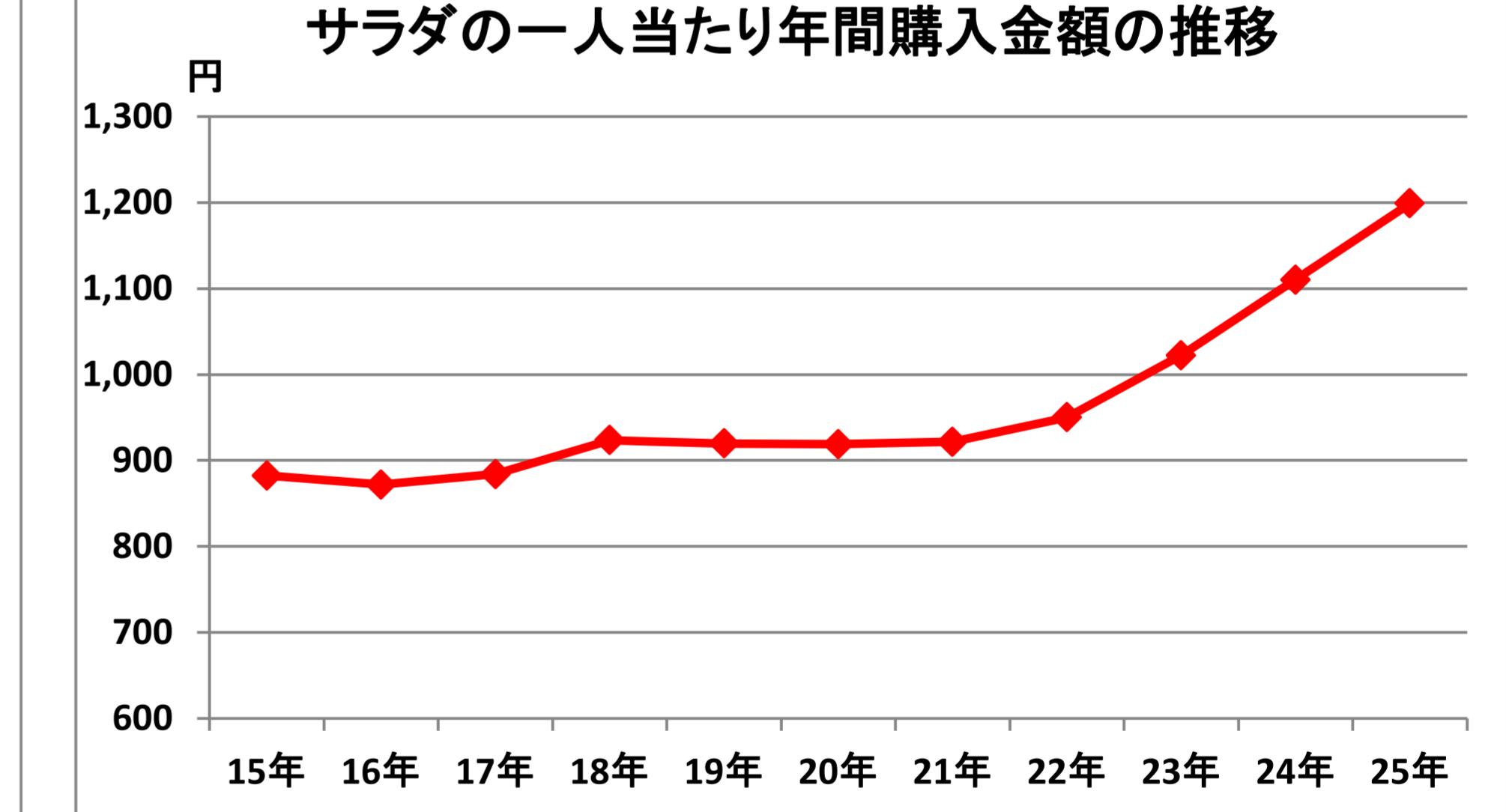
資料：総務省統計局「家計調査年報（2人以上の世帯）」



資料：総務省統計局「家計調査年報（2人以上の世帯）」



資料：総務省統計局「家計調査年報（2人以上の世帯）」



資料：総務省統計局「家計調査年報（2人以上の世帯）」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。